



●例会場/ニュー三幸 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 ☎0134-33-3500

38

通巻 第2742号
2016年4月15日発行

1960年創立
昭和35年2月5日



第2510地区
重点課題

●2015-2016年度 IRテーマ
世界へのプレゼントになろう
2015-16年度IR会長
K. R. ラビンドラン

- ①クラブ戦略計画への支援
- ②新会員のフォロー支援
- ③クラブサポート強化

●本日 4月15日 金のプログラム
◎「人工減少時代のまちづくり」
片桐 由喜 教授(小樽商大教授)

●来週 4月22日 金のプログラム
◎会員卓話「生活習慣病(糖尿病)について」
高木 正光 会員

●再来週 4月29日 金のプログラム
◎休会となります

●第37回例会報告 4月8日 金 職場訪問例会 かま栄本社 ■司 会 廣瀬副会長

■点 鐘 ■ 廣部会長

■メーキャップ受付 ■ 4月8日分 佐藤 慶一氏、柴田 憲彦氏、宮本 孝雄氏、久末 智章氏 (小樽RC)

例会プログラム

職場訪問例会



創業明治38年 今年で創業111年です。昔は小樽市内で50から60軒かまぼこ屋がありましたが現在は10軒以下となっております。全国のかまぼこ生産量も最盛期の100万トンから現在では60万トン位に減っており、非常に厳しい業界です。現在かま栄では小樽、札幌、千歳、旭川、帯広と売店が12店舗あります。

売上の比率は小樽が約35%、札幌が約45%となっておりますが、10年くらい前は小樽と札幌の比率が逆で、ここ数年小樽市内の売上が減少しています。今後は観光も含めて小樽市を盛り上げていきたいと思っております。また、昭和58年ころより見る工場を始めました。これは先代の社長が神奈川県小田原市の同業者が見学施設を併設しているのを参考にして、多くの人に蒲鉾を身近なものに感じてほしいとの思いで始めました。毎年多くの小中学生が社会科見学に訪れるようになっております。

蒲鉾造りで一番こだわるのは原料の魚です。そしてその原料を熟練の技術で形にして美味しい蒲鉾を造る。当たり前のことですが、ここが一番むずかしい事でもあります。魚は季節や採れる海域により同じ魚種でも違いがあったり、それを見極める職人の技術がついていけなかったりと勉強の日々です。

これからは、安心安全はもちろんのこと、食べて感動するような蒲鉾造りをめざして頑張っていきたいと思っております。



2016-17年度
国際ロータリー
第2510地区

地区研修・協議会

於：札幌パークホテル



『ガバナーエレクト地区研修・協議会基調講演趣旨』(抜粋) 武部 實 2016-17 ガバナー

●RIのテーマ



2016-17年度 国際ロータリーロゴ

○ジョン・ジャーム 2016-17RI会長 「人類に奉仕する ロータリー」
クラブ、地区、RI それぞれに於いてのリーダーシップの継続はロータリーを繁栄させます。又、「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承し様々な立場で様々な考え方で奉仕を継続していきましようと呼びかけています。

○K.R." ラビ " ラビンドラン 2015-16RI 会長 「世界への プレゼントになろう」

人生の価値はどれほど何かを得たかではなく、どれほど何を与えたかによって評価されます。世界へのプレゼンターになって社会貢献をしましようと呼びかけました。

●私たちロータリアンは人のために何が出来るかを常に考え行動しなければならないと思います

●2015-2016年度 第11回 理事会議事録 4/1 金

○議 題

1、4月、5月の例会プログラムの件

- 4月1日 小樽保健所 秋野恵美子所長「多様性受容力について」
- 4月8日 社会・職業奉仕委員会合同担当 職場訪問例会 かま栄本社
- 4月15日 小樽商大 片桐由喜教授「人口減少時代のまちづくり」
- 4月22日 会員卓話 高木正光会員
- 4月29日 休会
- 5月6日 小樽新幹線高速道路推進室長 西島圭二氏
- 5月13日 倶知安RC 旭克久氏「インターネット協議会」
- 5月19日(木) 移動夜間例会 宏楽園
- 5月27日 休会(定款6-1-C)

2、夜間例会(5月19日 木曜日)の件

IMの慰労会、お花見会。会場、宏楽園。会費、5,000円。

3、余市RC55周年(6月4日)の件

参加予定人数5人。御祝儀80,000円。

4、現新クラブアッセンブリーの件

6月3日(金)、18:00、三幸。

5、「おたる歴史紀行音楽きこう」

「～夏がはじまる～'16おたる☆浅草橋オールディーズナイトvol.13」

「～真夏の～中庭音楽祭'vol.1」

「～夏の終わりの～北運河サウンドエナジー vol.5」以上4イベントの後援の件

6、その他

小樽商科大学グローバル戦略センター移行に伴う経過的措置(平成27年3月27日制定)終了によりセンター規定運用開始(平成28年4月1日)当クラブに直接関係のある部署についての変更点。

1、国際交流センターは廃止。2、国際連携本部とグローバル教育部門となる。3、国際連携本部長は、穴澤教授(前国際交流センター長)4、グローバル教育部門長は、船津教授。5、事務については、学生支援課 国際交流室が担当する。6、学生支援課長は西田氏 国際交流室長は工藤氏 担当は花田氏。松浦国際奉仕委員長より説明。